

教育委員会だより

「キッズウィーク」の地域学校協働活動

羽島郡の小中学校では、子どもたちが家庭や地域との関わりの中で自らの可能性を広げ、自立力を高めていくことを目的に10月8日(土)～16日(日)まで「キッズウィーク」が実施されました。

その中で、地域学校協働活動の一つとして、それぞれの公民館が主催して子ども向け講座が行われました。

笠松町では、「秋の親子教室」の中で、羽島郡広域連合西消防署で消防士体験教室が実施されました。実際にはしご車にのぼったり、放水体験をしたりするなど、貴重な体験をしました。参加した児童からは「将来は消防士になりたいから、こういう機会があってよかった。」という感想が聞かれ、消防士という職業を身近に感じ、将来の職業選択につながっているようでした。

岐南町では、「キッズウィーク版Gさうす」の中で、地域の方が「三ちゃん遊び隊」と称して、昔遊び教室を実施しました。小学生の児童から、保護者世代、高齢者世代まで、多くの方が楽しく活動することができました。参加した児童からは、「あまり馴染みのない遊びができるから楽しい。」という声も出ました。子どもたちの活動に、多くの世代の地域住民

が関わるとてもよい機会でした。

地域、学校、家庭がつながりをもち、様々な立場の大人が子どもたちに関わることで、子どもたちの健全な成長につながると考えられます。各町で、公民館を拠点とした様々な取り組みを通して、キッズウィークを有意義なものにしていました。

羽島郡では、キッズウィーク以外でも土曜教室を多く設けています。学校とは違った学びから、新たな自己を発見し、可能性を広げ、地域社会を支える担い手として活躍できる取り組みを今後も推進していきます。



「秋の親子教室」消防士体験の様子

リーダーの活躍がさらに楽しみになった羽島郡二町「立志塾」

児童会・生徒会で活躍したいという意思のある郡内の小中学生30人が参加して羽島郡二町「立志塾」を開催しています。

夏休み中の8月2日の第1回研修会では「立志教育支援プロジェクト」理事の井上 武氏から「夢に向かって」の演題で講演を受講し、「志」とは、ゆれ動く自分の心が指し示す方向であることや、「志」を育てるためには「あいさつ」「掃除」「感謝」を大切にすることなどの必要性について学びました。

第2回研修会を10月12日に高山で行いました。飛騨・世界生活文化センター運営統括の六角 裕治氏から責任ある決断と行動ができるリーダーに必要な資質についての講義を受けたり、高山陣屋を見学したりする事で見聞を深めました。今後も、研修会や連携会議を通して責任ある決断と行動がとれる「意志あるリーダー」として、児童会・生徒会をリードする力を伸ばしていきます。これらの力を生かしてこれから活躍してくれることを楽しみにしています。



航空宇宙産業に
貢献する

株式会社 光製作所
羽島郡笠松町中野
☎387-4361

お断り

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本誌掲載の行事や事業を中止する場合があります。
町ホームページやLINEで最新の情報を配信していますので、事前にご確認ください。
またお出かけの際は、感染対策にご協力ください。